

# 鹿沼市新庁舎整備基本計画策定推進会議 第3回会議 議事録

日 時：平成26年12月15日（月）午前10時00分～12時00分

場 所：北押原コミュニティセンター会議室1及び会議室2

出席者：鹿沼市新庁舎整備基本計画策定推進会議委員

1号委員：関口正一、小川清正、大島久幸

2号委員：鈴木節也、井戸道廣、奈良部実、吉井和夫、木村剛考、塩澤保、  
荻村真紀、高山輝雄、山崎晴美、松崎清子、永田由美子、松島良子、  
風間教司、富山亮、白石修務、金子昭彦、野中清吉

3号委員：松山裕

（欠席者 2号委員：小太刀昭、大橋廣美、福田弘之、福田七右衛門、大塚美津子、  
黒川昌子、岩瀬昭子、松崎清子、和久井房子、総合アドバイザー：三橋伸夫）

事務局 3名

## 議事内容

### 1. 開 会

- ・事務局による開会、資料の確認
- ・出席状況により過半数（21名の出席）を確認し、委員会成立の報告

### 2. 委員長あいさつ

- ・前回会議では、基本計画の骨格となる「機能」を中心に「庁舎規模」等について、市民目線で検討していただいた。「庁舎規模」については、12,000㎡を基本にしながら、既存機能と重複している機能を整理し、さらに適正規模になるよう努めたい。「事業費」においては、建設工事費の高騰もあり60億円以内に収めることが大変厳しい状況である。複数の公共施設の更新時期を迎えており、財政上のリスクを最大限考えて判断したい。本日も積極的な発言をお願いしたい。

### 3. 報告事項

#### （1）第2回委員会の議事録について

（事務局より説明）

- ・議事録の確認

（質疑応答）

特に意見無し。

### 4. 議 事

#### （1）現在の進捗状況について

（事務局より説明）・・・『別添資料1』参照

⇒前回基本計画策定推進会議以降の内容について説明

- ・市議会庁舎検討委員会での検討内容の報告。

→大島委員より、市議会庁舎整備検討委員会における検討内容について、資料での配布を申出。

→事務局が、委員長に対し配布許可を確認。（委員長、配布許可。）

→『鹿沼市議会庁舎整備検討委員会 新庁舎整備に関する要請内容』を委員全員及び傍聴者へ配布。大島委員より、要請内容の説明。

＜要請内容は別紙のとおり＞

- ・第6回推進本部会議（11/27）において、「新庁舎の機能（床面積が必要な機能）」及び「規模及び配置計画」の方向性が決定したことを報告。
  - 新庁舎の「規模」は、総床面積「12,000㎡」を基本に進めることとする。ただし、既存機能と重複している機能を整理し、さらに規模縮小になるよう検討する。
  - 新庁舎の「配置計画」は、敷地南東側に庁舎を集約して建設する「パターン5（建築面積：2,000㎡、6階建）」を基準にゾーニング計画を進めることとする。
  - 前回会議資料との修正部分について報告。
    - ①多目的スペース 2階⇒1階
    - ②ランチルームは1階職員分のみ（主に窓口担当職員）。
    - ③エントランスロビーの増床：200㎡⇒270㎡（待合スペース、多目的スペースと一体利用で500㎡の確保）
    - ④廊下や階段等の共用部分 各階面積の約10%⇒約20%
    - ⑤議会機能 中層3階⇒高層6階
    - ⑥会議室面積の削減

（質疑応答）

特に意見無し。

## （2）新庁舎の「施設計画」について

（事務局からの説明）・・・『別添資料2』参照

- ・構造計画について
  - 1）新庁舎構造の基本的な考え方として、「耐震安全性」・「耐用年数」・「地盤状況と建物基礎」を説明。
  - 2）構造躯体は、RC（鉄筋コンクリート）造、S（鉄骨）造、SRC（鉄骨鉄筋コンクリート）造を比較検討し、今後の設計において決定する。また、CLT（直交集成板）工法による木造と関連法令の整備状況を説明。
  - 3）構造計画方針として、
    - ①耐震化に伴う構造の設計方針  
⇒免震構造の導入を基本とする。
    - ②基礎形式の設計方針  
⇒「基本設計」において建物の形状や重量、検査結果等を踏まえた検討に基づき決定する。
    - ③躯体構造の設計方針  
⇒地質調査の結果や階層、形状、建築コスト等の計画を踏まえた検討に基づき決定する。
- ・建物内空間環境整備計画について
  - 1）フロア形状の基本的な考え方  
⇒「中廊下形式」を基本とする。
  - 2）木質化の基本的な考え方  
⇒内装の木質化や庁用物品の「木製化」等、今後の設計において具体的な検討を行う。特に『地域産材活用空間構築システム（WOOD INFILL）』の導入検討を行う。
- ・電気／機械設備計画について
  - 設備計画の基本的な考え方

⇒「容易な維持・保全」、「省エネルギー化による光熱費の低減」、「再生可能エネルギーの採用」、「低環境負荷機能」等合理的で経済的な設備計画とする。

電気設備計画、機械設備計画、その他・建築面における負荷低減の考え方について説明。

・意匠計画について

○基本的な考え方や「鹿沼市景観条例」、鹿沼市景観計画に基づく「景観形成基準」に配慮することを説明。

(質疑応答)

大島委員：3/27の第8回庁舎整備推進本部会議において決定する内容は、具体的にどのようなものか？

事務局：新庁舎整備に伴う庁舎機能をはじめ、配置計画や庁舎規模、構造計画、概算事業費、スケジュール等の基本計画を決定するものである。

大島委員：構造計画部分においてCLT工法の導入を検討するとしているが、法整備や生産性、建築コスト、耐震性、耐火性等多くの実態が不明確なままである。RC造・S造・SRC造の検討だけで良いのではないか？

事務局：新庁舎において、少しでも木材を利用したいとの視点から、もし設計発注時点において法整備等が進み、一部空間でも利用が見込めるのであれば、設計において検討するよう整理してある。

大島委員：木材の利用推進が主な理由であるならば、木造の在来工法も検討に入れていただきたい。RC造の上に載せる混構造も考えられる。市議会が提案する別棟での木造も視野に入る。

事務局：計画上で議場は300㎡程度必要としている。現庁舎位置は準防火地域であるため、一般の木造建築は500㎡まで可能である。議場を別棟で木造により建設し、渡り廊下で繋ぐ形式であるなら可能に思う。しかし木造を上に乗せる混構造の場合は、木造部分もSRC造と一体と見なされ、耐火構造にしなければならない。また、木造部分とSRC造部分の連結強度も相当必要である。

また、コンサート等の市民利用を考えると、高層階の配置よりアプローチがしやすいと思う。課題としては、議場の建築面積分の駐車場台数の減少や建築コスト増が考えられる。

大島委員：議場の取扱い等について、委員の皆さんの意見を聴きたいと思う。

木村委員：地域経済の活性化のため、どの棟においても「WOOD INFILL(ウッドインフィル)」の活用を検討していただきたい。

塩沢委員：議場を別棟及び木造化すると更に事業費が増えるのではないか？また、駐車場が狭くなくことも懸念される。検証が必要に思う。

白石委員：CLT工法が庁舎整備に使えるかどうかは疑問に思う。また、あまりにきっちりと前提条件を決めてしまうのは、基本及び実施設計を行う上で大変であり、選択肢が多い方が良いと思う。また、検討案にも「ウッドインフィル」について取り上げていただき、ありがたく思う。先週の東京ビックサイトで行われた展示会（エコプロダクツ2014）の資料を配布していただいてもよろしいか。

⇒議長、配布を許可。

最近の大きな建物はスケルトン（柱・梁・床等の構造躯体）の整備だけで、中身は空の場所に内装を含め賃貸で入ることが多い。庁舎もワンフロアの中に相談スペースや会議室等が必要になる。システム導入により空間をフレキシブルに構成することが可能である。展示会において、エコ&デザインブース大賞（最優秀賞）を受賞できたことを報告する。来年度には、販売できるようになると思う。

- 野中委員：市議会の考え方も分かるが、本当に議場を庁舎本体と分ける必要があるのか？議会開催は年に数回であり、コンサート等の市民利用についても、市民文化センターや市民情報センター等の施設が揃っている。これまでの会議の中で議場を別棟化するとの話は出ていなかった。面積や費用をかけないとの考えを一番にさせていただきたいと思う。
- 大島委員：補足説明をさせていただくと、地場産業の活性化とか鹿沼の木工技術を示すための一つの提案である。コスト高や使用頻度が低いことから、大会議室を利用すれば良いのではとの意見もある。しかし、議場は神聖な場であり、最高の議決機関でもあるため、きちんとした場所で行うべきとの考えと同時に、閉会中におけるコンサート利用や会議室としての活用が大切であると考え。また、別棟で木造化し、別発注することにより、市内業者が建設を請け負う可能性がある。いろいろな可能性を模索して、皆で検討していただければと思う。
- 富山委員：要請書の中で、はじめに「コストのかからない庁舎整備」としながら、「議場は別棟で木造」としているのは明らかにコスト高になり、矛盾ではないか？コンサート利用と言うが、多くの利用を見込めるかは疑問である。「コストのかからない庁舎整備」の考えと「議場を別棟で建てる」必要性を改めて聞きたい。空間として神聖なのではなく、議員の方々が神聖なのであって、私としては、市民文化センター等でも議会が開催できると思っている。庁舎と一体ではなく、別の施設を利用した議場の検討も行うべきではないか？
- 大島委員：市議会としては、1棟集約で建設するプランの中で、別棟でも一般の木造在来工法であれば万が一にも逆にコストが縮減できるのではないかと考えもあり、提案をさせていただいた。もちろん総事業費60億円の中で行うことが前提である。議場を建設せずに既存施設の会議室等を利用すれば、コスト縮減もできるとの意見も尊重し、検討させていただいたが、全国的にもそのような事例は無いように思う。
- 富山委員：（議場としての利用が可能のように）立派な会議室に改修しても良いと思う。市民の多くはそう考えると思う。
- 委員長：新庁舎整備事業における総事業費は、60億円を上限と決められているため、その枠内においてどのように建てていくかを検討していただければと思う。
- 小川委員：基本は震度6強に耐えられ、また、総事業費60億円に収まる庁舎としていただければ良い。
- 関口委員：市議会としても、3人が代表として会議に参加している。別棟になるとコスト高となることも分かるが、1つの案として検討してもらいたい。市議会内でいろいろ検討した上でこの要請を行っている。案に対して、予算的にどうなるのか等明確に提示していただかないと、我々市議会としても判断が下せない。市議会から要請があったものであり、皆様には申し訳ないが、ぜひ検討をお願いしたい。
- 井戸委員：このように要請書が提出され、市議会から3人参加しているというが、一般の参加者はもっと多い。そのような考えは迷惑である。このような要請書を他の団体が提出した時に、同じように取り上げていただけるのか？  
「コストを抑えろ」と言いながら「議場は別棟で木造」との考えは矛盾している。
- 委員長：市議会庁舎整備検討委員会において、審議した結果をこの場で報告したということである。あくまで市議会として、これらの考えを持っているとのことで委員の皆様にご理解していただきたい。
- 高山委員：別棟化についてはいかがなものかと思う。議会は別施設でも開催可能かもしれないが、公正中立な議決機関でもあるし、やはり庁舎内にしっかりしたものを建設し、市民に対する有効利用が図れば良いと思う。

白石委員：別棟化した場合のコスト計算のシミュレーションを示していただければ、委員皆納得するのではないかと？

事務局：想定したものになるが、提示することは可能である。次回検討委員会に提示できればと思う。

その他特に意見無し。

⇒新庁舎の「施設計画」について、委員一同承認。

### (3) 事業費（財源計画）及び整備スケジュールについて

(事務局から説明)・・・『別添資料3』

- ・ 建築コストは、基本構想時点で@33.5万円/㎡であったが、現時点では@50万円超/㎡（他市事例実績単価から）と想定される。また、来年以降の予想は難しいが東京オリンピック・パラリンピックまでは、建築コストは高水準で移行することが想定される。
- ・ 3つの整備プランを設定し、それぞれの事業費と財源を比較検討する。

#### <Aプラン>

基本構想のスケジュールのままを進めるプラン（H29年着工）。

想定事業費：58.4億円(@42万円/㎡)～75.0億円(@54万円/㎡)

#### <Bプラン>

合併特例債を活用できる年次内に延期し、進めるプラン（H31年着工）。東京オリンピックは、前年にプレ大会を予定しており、主な工事はH30年までにほぼ終了することを見据え、建築コストが多少下落すると想定。

想定事業費：55.7億円(@40万円/㎡)～69.6億円(@50万円/㎡)

#### <Cプラン>

東京オリンピック・パラリンピック後に延期し、進めるプラン（H32年以降に着工）。

想定事業費：51.7億円(@37万円/㎡)～58.4億円(@42万円/㎡)

- ・ 3つの整備プランのスケジュールを比較検討し、ポイントを説明。

(質疑応答)

野中委員：「かぬま・あわの振興基金」とはどのような財源であるのか？

事務局：栗野町と合併したときに、地域の振興に使える基金として創設したもので約18億円程度ある。

吉井委員：東京オリンピック後に延期するCプランでは、「現庁舎の耐震補強を行う必要がある」となっている。Cプランには、現庁舎の耐震補強工事分を計上する必要があると思う。

事務局：耐震補強の他、設備等の改修工事も別途発生すると思われるので、計上していきたい。

委員長：震度6程度の地震が発生した場合、今のままではもたないとのことだが、次にいつ発生するのか予測はできない。

風間委員：事業が延期された場合、基本構想で決められた中身までも再検討する可能性が出てくるのではないかと？民間の場合、事業費上限があるならば計画された建物の規模や設備を改めて縮小することになると思う。新築部分を縮小して、既存施設に部署を振り分ける等の手法も検討すべきである。

金子委員：延期しても、建設コストが下がるという保証がない。安易に延期すべきでないと思う。

その他特に意見無し。

⇒事業費（財源計画）及び整備スケジュールについて、委員一同承認。

5. その他  
特に意見なし。

6. 閉 会